

# 平成 20 年度事務事業評価表(団体運営費補助用)

①事務事業名		担	部課コード	100200	TEL	2929-9121
事業コード	防火安全協会補助金	当	消防本部 予防課			
100208		部				
補助開始年度 平成 13 年度 → 終了予定年度 平成 年度		課	グループ	危険物		

②事業の内容	根拠法令	なし								
	分野別計画・指針	なし								
	関連・類似事業	火災予防運動事業、青少年消防体験入隊事業、防火管理業務研修会事業、防火管理講習会事業〔所管課—全事業予防課〕								
	総合計画の体系	政策	第6章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち	施策	1節 消防・救急	中柱	2 火災の予防	小柱	(3) 防火管理体制の充実	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
	コード	1111 市民の知りたい情報の提供			コード	3112 印刷物等への広告掲載		コード	3261 事務事業見直しの推進	
	補助開始の背景	所沢市防火安全協会は、平成13年3月に所沢市危険物安全協会と所沢防火協会が合併し発足した。合併前より両団体とも補助金の交付を受けており、合併後についても防火思想の高揚を図り、各種の火災予防事業に協力する趣旨から補助金の交付を開始した。								
	補助の目的	消防機関と所沢市防火安全協会との協力体制を確立し、消防思想の普及と防火安全体制の強化に努め、災害を未然に防止し、社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。						団体への加盟数		
	団体における実施事業の概要	<small>1 火災予防運動、危険物安全週間の周知(ポスター配布等)及び危険物安全対策の啓発協力 2 防火管理者講習会、危険物取扱者の試験準備講習会及び保安講習会の開催協力 3 青少年消防体験入隊及び防火管理業務研修会の開催協力 4 住宅用火災警報器の給付及び普及啓発協力</small>						574	単位 会員数	

③経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	補助金支出額当初予算		257	245	196	
	補助額決算(見込み含む)		257	245		
	臨時職員賃金		人	人		
	正規職員人件費		0.24 人	2,208	0.14 人	1,315
	事業費合計		2,465	1,560		
	市民一人当たり(単位:円)		7.3	4.6		

④指	団体活動実績	各種講習会の開催	延べ参加人数	人	H 18	684	H 19	674	H20見込み	700	将来目標
		会報誌の発行	発行部数	部		650		650		650	
	成果分析	出火率	人口1万人あたりの出火件数	目標値		4.2		4		4	
				実績		3		2.7			
		%	達成率		140.0		148.1		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2		

⑤一次評価	補助金の有効性	評価項目	総合計画への貢献度	<input type="checkbox"/> 貢献度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度貢献している	<input type="checkbox"/> 貢献度は低い		
			成果分析に基づく目的の達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度は高い	<input type="checkbox"/> ある程度達成している	<input type="checkbox"/> 達成度は低い		
			団体活動の自主性	<input checked="" type="checkbox"/> 自主性は高い	<input type="checkbox"/> ある程度自主的である	<input type="checkbox"/> 自主性は低い		
			事業費に占める補助金の割合	<input type="checkbox"/> 81%以上	<input type="checkbox"/> 61%~80%	<input type="checkbox"/> 41%~60%	<input type="checkbox"/> 21%~40%	<input checked="" type="checkbox"/> 20%以下
			活動内容及び会計処理の適切さ	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善余地がある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が大きい		
		今後の必要性	<input type="checkbox"/> 増大する	<input type="checkbox"/> 減少する	<input checked="" type="checkbox"/> 変わらない			
	目標設定	目標項目	H 20	住宅用火災警報器給付事業の推進	達成水準	年度事業計画に基づき当該事業を完遂する。	時期	年度内
				関連・類似事業である「防火管理業務研修会事業」の開催協力		80人以上の参加を得る。		平成20年5月
		H21予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 終了	
		上記評価理由(補助金の有効性及び予算の方向性)	所沢市防火安全協会は各種の火災予防事業を支援しており、平成19年度は単身高齢者宅を対象とした住宅用火災警報器の給付事業に取り組み成果を挙げている。また、平成20年度は新規事業である防火管理業務研修会事業に協力し、火災予防を推進する計画である。このように、当協会の運営は火災予防の多岐にわたりその貢献度は高く、補助金の有効性が認められることから予算の方向性を現状通りとする。					
	評価日	平成20年5月7日	記入者職氏名	予防課長 木下 雅孝				

⑥二次評価	次年度用評価	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価日								

⑦個別計画の方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	施策の体系			施策の方向	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	基本目標				
	主要課題				
	施策の方向				